

「打ち上げ紙飛行機」

ゴムで打ち上げる、紙飛行機。牛乳パックのつばさに好きな絵を描いて、割りばしに貼りつければできあがり。

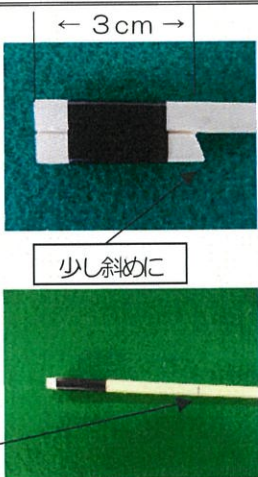
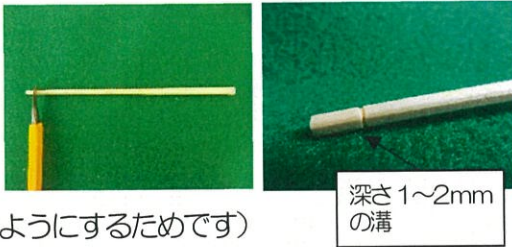
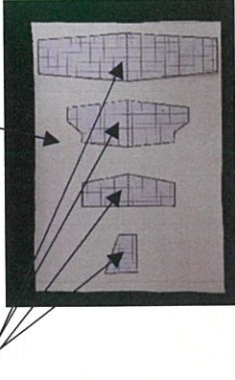
【用意する材料】

平たい形の割りばし（割っていないもの）1膳、よく乾燥させた牛乳パック（1000cc）1個、ビニールテープ又はガムテープ、輪ゴム2本、接着剤（木工用ボンド）

【用意する道具】

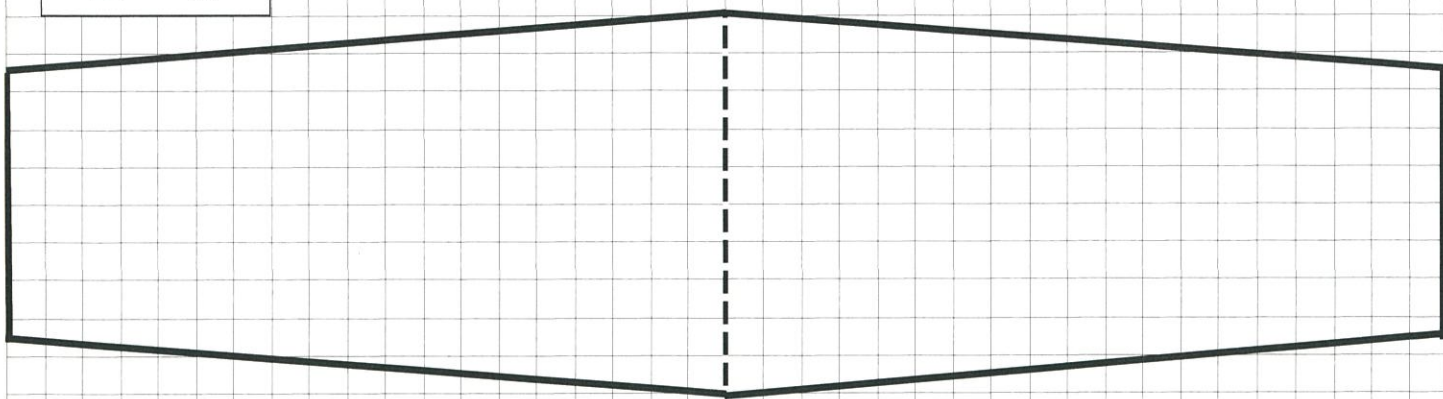
絵を描くもの（クレヨン、マジック、絵の具など）、鉛筆、はさみ又はカッターナイフ、定規

《動画で用いる「加工済の材料」をご家庭で加工する場合のご案内》

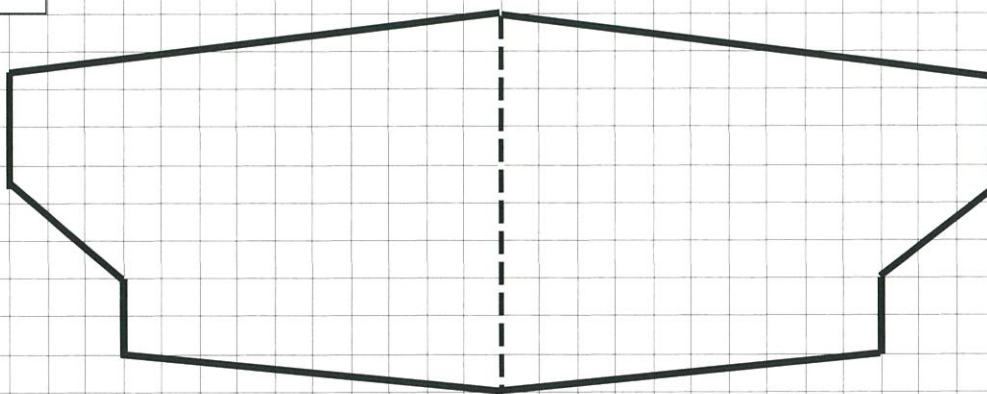
加工済の材料	ご家庭で加工する場合のご案内
割りばし （本体用）	<p>①平たい形の「割りばし」のくっ付いている太い部分にビニールテープ（又は細く切ったガムテープ）を1～2重に巻きます。 （頭を少し重くして、よく飛ばすようにするためです）</p> <p>②さらにカッター等を用いて、片方の側だけを、頭から3cm部分で、<u>少し斜めに切り落とします。</u> （打ち上げる時に、輪ゴムが引っかかりやすくするためです。）</p> <p>③頭から6cmの所に鉛筆で印をつけます。 （翼を張り付けるときの目安にします）</p> 
割りばし （打ち上げ用）	<p>①先ほど切り取った割りばしを使います。</p> <p>②カッター等を用いて、細い方から1cmの所に、深さ1～2mmの溝をぐるりと一周掘ります （打ち上げ用の輪ゴムが抜けないようにするためです）</p> 
牛乳パック （つばさの形：4種類）	<p>①牛乳パックをよく乾かしてから、<u>辺をはさみで切って平らにし、底と注ぎ口部分を切り取って「長方形の厚紙」にします。</u></p> <p>②次頁の型紙を印刷します。</p> <p>③4枚の「型紙」を切り抜き、長方形の厚紙に乗せ、鉛筆で形を写します。曲がり角に点印をつけ、定規で点印をつなぎ合わせればきれいに写せます。 （④ができる程度に、のりかセロハンテープで軽く貼り付けておいても大丈夫です。）</p> <p>④厚紙をはさみで切り取ります。</p> 

※用意ができましたら、「動画」をご覧くださいながら「ものづくり」をお楽しみください。

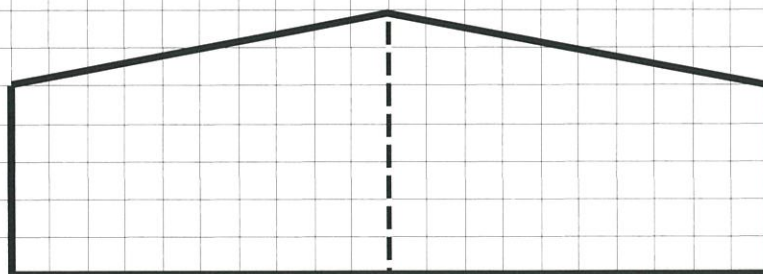
主翼



主翼の補強



水平尾翼



垂直尾翼

